

(6) 離脱防止金具取付工

ア. 離脱防止金具取付工は、既設配水管に耐震補強金具又は継手補強金具を取付ける工事に適用する。

イ. 重機選定については、下表を標準とする。

(矢板なし)

口径		φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300
積算 重機	A・K形	0.13m ³ -2 t	0.13m ³ -2 t	0.13m ³ -2 t	0.28m ³ -4 t	0.45m ³ -10 t
	T形	0.13m ³ -2 t	0.13m ³ -2 t	0.13m ³ -2 t	0.13m ³ -2 t	—

(矢板あり)

口径		φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300
積算 重機	A・K・ T形	0.45m ³				
		-10 t				

(注) 表中の積算重機は「バックホウ(クローラ型) -ダンプトラック」を示す。

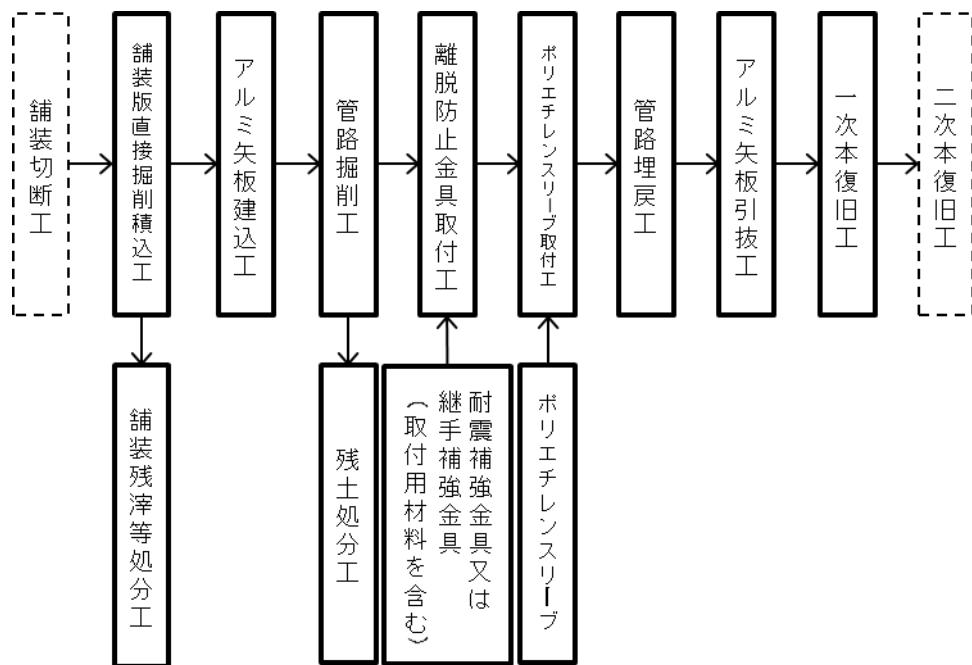
ウ. 離脱防止金具取付手間は、「水道事業実務必携 第一編 2-2-3 メカニカル継手歩掛表」によるものとする。

エ. 離脱防止金具取付材料については、「管路資材等価格調査」によるものとするが、当該調査品目に含まれないものは見積りによるものとし、いずれも管材費として取扱う。

才、埋戻工は、改良土使用を標準とする。

力。矢板工の計上が必要となる場合は、アルミ矢板を標準とする。掘削幅及び矢板長は標準数量表によるものとする。

キ. 施工フローは下記を標準とする。



(注)・本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

・その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

ク. 標準数量表 (A・K形)

φ75 (矢板なし)

(1箇所当たり)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.54	0.54	0.54	-
管路掘削工		m3	0.73	0.58	0.61	0.63
管路埋戻工	改良土	m3	0.47	0.48	0.58	0.57
残土処分工		m3	0.47	0.48	0.56	0.63
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.05	0.04	0.02	-
舗装等処分工	路盤廃材	m3	0.27	0.11	0.05	-
一次本復旧工		m2	0.54	0.54	0.54	-
離脱防止金具取付工(材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1	1	1	1
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50	0.50	0.50	0.50
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50	0.50	0.50	0.50

φ75 (矢板あり)

(1箇所当たり)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.81	0.81	0.81	-
管路掘削工		m3	1.27	1.28	1.32	1.35
管路埋戻工	改良土	m3	0.86	1.13	1.28	1.27
残土処分工		m3	0.86	1.13	1.25	1.35
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.08	0.06	0.02	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.41	0.16	0.08	-
一次本復旧工		m2	0.81	0.81	0.81	-
離脱防止金具取付工(材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1	1	1	1
矢板工(設置・撤去)	2.0m以下 B≤0.9	m	3.60	3.60	3.60	3.60
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50	0.50	0.50	0.50
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50	0.50	0.50	0.50

φ100 (矢板なし)

(1箇所当たり)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.59	0.59	0.59	-
管路掘削工		m3	0.80	0.63	0.66	0.67
管路埋戻工	改良土	m3	0.49	0.50	0.63	0.62
残土処分工		m3	0.49	0.50	0.59	0.67
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.06	0.05	0.02	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.30	0.12	0.06	-
一次本復旧工		m2	0.59	0.59	0.59	-
離脱防止金具取付工(材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1	1	1	1
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50	0.50	0.50	0.50
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50	0.50	0.50	0.50

φ100 (矢板あり)

(1箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.81	0.81	0.81	-
管路掘削工		m3	1.26	1.28	1.32	1.34
管路埋戻工	改良土	m3	0.85	1.12	1.28	1.26
残土処分工		m3	0.85	1.12	1.24	1.34
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.08	0.06	0.02	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.41	0.16	0.08	-
一次本復旧工		m2	0.81	0.81	0.81	-
離脱防止金具取付工(材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1	1	1	1
矢板工(設置・撤去)	2.0m以下 B≤0.9	m	3.60	3.60	3.60	3.60
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50	0.50	0.50	0.50
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50	0.50	0.50	0.50

φ150 (矢板なし)

(1箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.63	0.63	0.63	-
管路掘削工		m3	0.84	0.67	0.70	0.72
管路埋戻工	改良土	m3	0.53	0.54	0.67	0.65
残土処分工		m3	0.53	0.54	0.64	0.72
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.06	0.05	0.02	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.32	0.13	0.06	-
一次本復旧工		m2	0.63	0.63	0.63	-
離脱防止金具取付工(材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1	1	1	1
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50	0.50	0.50	0.50
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50	0.50	0.50	0.50

φ150 (矢板あり)

(1箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.81	0.81	0.81	-
管路掘削工		m3	1.25	1.27	1.31	1.33
管路埋戻工	改良土	m3	0.84	1.11	1.27	1.25
残土処分工		m3	0.84	1.11	1.23	1.33
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.08	0.06	0.02	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.41	0.16	0.08	-
一次本復旧工		m2	0.81	0.81	0.81	-
離脱防止金具取付工(材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1	1	1	1
矢板工(設置・撤去)	2.0m以下 B≤0.9	m	3.60	3.60	3.60	3.60
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50	0.50	0.50	0.50
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50	0.50	0.50	0.50

φ 200 (矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.68	0.68	0.68	-
管路掘削工		m3	0.90	0.71	0.74	0.76
管路埋戻工	改良土	m3	0.55	0.57	0.71	0.69
残土処分工		m3	0.55	0.57	0.67	0.76
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.07	0.05	0.02	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.34	0.14	0.07	-
一次本復旧工		m2	0.68	0.68	0.68	-
離脱防止金具取付工(材工共)	金具耐震補強/継手補強金具	箇所	1	1	1	1
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50	0.50	0.50	0.50
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50	0.50	0.50	0.50

φ 200 (矢板あり)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.81	0.81	0.81	-
管路掘削工		m3	1.24	1.25	1.29	1.32
管路埋戻工	改良土	m3	0.83	1.10	1.25	1.24
残土処分工		m3	0.83	1.10	1.22	1.32
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.08	0.06	0.02	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.41	0.16	0.08	-
一次本復旧工		m2	0.81	0.81	0.81	-
離脱防止金具取付工(材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1	1	1	1
矢板工(設置・撤去)	2.0m 以下 B≤0.9	m	3.60	3.60	3.60	3.60
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50	0.50	0.50	0.50
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50	0.50	0.50	0.50

φ 300 (矢板なし)

(1 箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.77	0.77	0.77	-
管路掘削工		m3	0.98	0.77	0.80	0.82
管路埋戻工	改良土	m3	0.58	0.61	0.77	0.74
残土処分工		m3	0.58	0.61	0.72	0.82
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.08	0.06	0.02	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.39	0.15	0.08	-
一次本復旧工		m2	0.77	0.77	0.77	-
離脱防止金具取付工(材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1	1	1	1
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50	0.50	0.50	0.50
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50	0.50	0.50	0.50

φ300 (矢板あり)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.81	0.81	0.81	-
管路掘削工		m3	1.20	1.21	1.25	1.28
管路埋戻工	改良土	m3	0.79	1.06	1.21	1.20
残土処分工		m3	0.79	1.06	1.18	1.28
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.08	0.06	0.02	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.41	0.16	0.08	-
一次本復旧工		m2	0.81	0.81	0.81	-
離脱防止金具取付工 (材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1	1	1	1
矢板工 (設置・撤去)	2.0m 以下 B≤0.9	m	3.60	3.60	3.60	3.60
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50	0.50	0.50	0.50
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50	0.50	0.50	0.50

ケ. 標準数量表 (T形)

φ75 (矢板なし)

(1箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.42	0.42	0.42	-
管路掘削工		m3	0.57	0.45	0.47	0.49
管路埋戻工	改良土	m3	0.36	0.38	0.45	0.44
残土処分工		m3	0.36	0.38	0.44	0.49
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.04	0.03	0.01	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.21	0.08	0.04	-
一次本復旧工		m2	0.42	0.42	0.42	-
離脱防止金具取付工 (材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1	1	1	1
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50	0.50	0.50	0.50
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50	0.50	0.50	0.50

φ75 (矢板あり)

(1箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.63	0.63	0.63	-
管路掘削工		m3	0.98	1.00	1.03	1.05
管路埋戻工	改良土	m3	0.67	0.87	1.00	0.98
残土処分工		m3	0.67	0.87	0.97	1.05
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.06	0.05	0.02	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.32	0.13	0.06	-
一次本復旧工		m2	0.63	0.63	0.63	-
離脱防止金具取付工 (材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1	1	1	1
矢板工 (設置・撤去)	2.0m 以下 B≤0.9	m	3.20	3.20	3.20	3.20
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50	0.50	0.50	0.50
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50	0.50	0.50	0.50

φ100 (矢板なし)

(1箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.42	0.42	0.42	-
管路掘削工		m3	0.57	0.45	0.47	0.48
管路埋戻工	改良土	m3	0.36	0.37	0.45	0.44
残土処分工		m3	0.36	0.37	0.43	0.48
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.04	0.03	0.01	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.21	0.08	0.04	-
一次本復旧工		m2	0.42	0.42	0.42	-
離脱防止金具取付工(材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1	1	1	1
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50	0.50	0.50	0.50
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50	0.50	0.50	0.50

φ100 (矢板あり)

(1箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.63	0.63	0.63	-
管路掘削工		m3	0.98	0.99	1.03	1.04
管路埋戻工	改良土	m3	0.66	0.86	0.99	0.98
残土処分工		m3	0.66	0.86	0.96	1.04
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.06	0.05	0.02	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.32	0.13	0.06	-
一次本復旧工		m2	0.63	0.63	0.63	-
離脱防止金具取付工(材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1	1	1	1
矢板工(設置・撤去)	2.0m以下 B≤0.9	m	3.20	3.20	3.20	3.20
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50	0.50	0.50	0.50
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50	0.50	0.50	0.50

φ150 (矢板なし)

(1箇所当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.42	0.42	0.42	-
管路掘削工		m3	0.56	0.44	0.46	0.48
管路埋戻工	改良土	m3	0.35	0.37	0.44	0.43
残土処分工		m3	0.35	0.37	0.43	0.48
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.04	0.03	0.01	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.21	0.08	0.04	-
一次本復旧工		m2	0.42	0.42	0.42	-
離脱防止金具取付工(材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1	1	1	1
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50	0.50	0.50	0.50
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50	0.50	0.50	0.50

φ150 (矢板あり)

(1箇所当たり)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.63	0.63	0.63	-
管路掘削工		m3	0.97	0.99	1.02	1.04
管路埋戻工	改良土	m3	0.66	0.86	0.99	0.97
残土処分工		m3	0.66	0.86	0.96	1.04
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.06	0.05	0.02	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.32	0.13	0.06	-
一次本復旧工		m2	0.63	0.63	0.63	-
離脱防止金具取付工(材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1	1	1	1
矢板工(設置・撤去)	2.0m以下 B≤0.9	m	3.20	3.20	3.20	3.20
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50	0.50	0.50	0.50
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50	0.50	0.50	0.50

φ200 (矢板なし)

(1箇所当たり)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.42	0.42	0.42	-
管路掘削工		m3	0.55	0.43	0.45	0.46
管路埋戻工	改良土	m3	0.34	0.35	0.43	0.42
残土処分工		m3	0.34	0.35	0.41	0.46
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.04	0.03	0.01	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.21	0.08	0.04	-
一次本復旧工		m2	0.42	0.42	0.42	-
離脱防止金具取付工(材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1	1	1	1
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50	0.50	0.50	0.50
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50	0.50	0.50	0.50

φ200 (矢板あり)

(1箇所当たり)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装版直接掘削・積込工		m2	0.63	0.63	0.63	-
管路掘削工		m3	0.96	0.98	1.01	1.03
管路埋戻工	改良土	m3	0.65	0.85	0.98	0.96
残土処分工		m3	0.65	0.85	0.95	1.03
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.06	0.05	0.02	-
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.32	0.13	0.06	-
一次本復旧工		m2	0.63	0.63	0.63	-
離脱防止金具取付工(材工共)	耐震補強金具/継手補強金具	箇所	1	1	1	1
矢板工(設置・撤去)	2.0m以下 B≤0.9	m	3.20	3.20	3.20	3.20
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.50	0.50	0.50	0.50
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.50	0.50	0.50	0.50

(7) 洗浄排水工 (材工共)

- ア. 本工種は、 $\phi 300$ 以下の新設布設管の洗浄排水に必要となる排水管の設置・撤去に適用する。
- イ. 既設舗装構造は、A08-20又は、砂利道(0-10)の2区分とし、一次本復旧時における舗装構造は、それぞれ05-23型工、及び0-10型工とする。
- ウ. バックホウの機種は、山積0.13m³とする。
- エ. 管材料は請負者調達とし、償却回数は管類60回、継手類は30回とする。

オ. 標準数量表

(1箇所当たり)

工種	形質寸法	単位	$\phi 75 \sim \phi 150$		$\phi 200 \sim \phi 300$	
			A08-20	砂利道	A08-20	砂利道
舗装切断工	As t=15 cm以下	m	10.80	—	10.80	—
舗装版直接掘削・積込工	As t=10 cm以下	m ²	6.48	—	7.02	—
管路掘削工		m ³	5.51	5.93	6.07	6.53
管路埋戻工	改良土	m ³	2.11	2.69	2.36	2.99
管路埋戻工	流用土	m ³	1.97	2.55	2.15	2.78
残土処分工		m ³	2.25	3.38	2.52	3.75
管布設工	$\phi 200$	m	—	—	0.56	0.56
管布設工	$\phi 100$	m	—	—	5.15	5.15
管布設工	$\phi 75$	m	5.71	5.71	—	—
管撤去工	$\phi 200$	m	—	—	0.56	0.56
管撤去工	$\phi 100$	m	—	—	5.15	5.15
管撤去工	$\phi 75$	m	5.71	5.71	—	—
市道仮復旧工		m ²	3.24	—	3.51	—
一次本復旧工	05-23	m ²	3.24	—	3.51	—
舗装残滓等処分工	アスファルト殻	m ³	0.42	—	0.46	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	1.30	—	1.40	—
管材料	直管 $\phi 100(75)$	k g	1.18	1.18	1.33	1.33
管材料	異形管 $\phi 200$	k g	—	—	0.50	0.50
管材料	異形管 $\phi 100$	k g	—	—	1.40	1.40
管材料	異形管 $\phi 75$	k g	1.10	1.10	—	—
管材料	仕切弁 $\phi 100(75)$	個	0.02	0.02	0.02	0.02
管材料	継手材 K s $\phi 200$	組	—	—	0.03	0.03
管材料	継手材 K s $\phi 100(75)$	組	0.20	0.20	0.20	0.20
管材料	継手材 F $\phi 100(75)$	組	0.07	0.07	0.07	0.07

(注) 形質寸法欄の()内は $\phi 75 \sim \phi 150$ の場合を示す。

(8) フランジ栓止工 (材工共)

ア. 管継手工、継手離脱工

継手形式については、F形継手工（F形継手離脱工）1箇所とする。

イ. 弁室類築造工

制水弁室の据付・撤去を1箇所とする。

ウ. 標準数量表

(1箇所当たり)

工種／資材名称	単位	数量					備考
		φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300	
F形継手工	箇所	1	1	1	1	1	※4
F形継手離脱工	箇所	1	1	1	1	1	
弁室類築造工（据付・撤去）	箇所	1	1	1	1	1	在来品使用※3
DフランジふたG F形	個	1	1	1	1	1	
G F ガスケット	枚	1	1	1	1	1	
T頭ボルトナット フランジ 用異形 フッソ加工※1	本	4	4	6	8	-	
Dフランジボルトナット フッソ加工※2	本	-	-	-	-	10	

※1 : M16×75とする。

※2 : M20×85とする。

※3 : 新品使用とする場合は、弁室材料を別途計上する。

※4 : 離脱防止金具（耐震補強金具）の同時設置を行う場合の材料費は別途計上する。

(9) 仮栓止工 (材工共)

ア. 管継手工

継手形式については、K形継手工1箇所、KS形継手工1箇所とする。

イ. 人力木杭打工

木杭の使用本数、木杭末口、根入れ深さ、木杭長さについては、次表を標準とする。

配水管口径 (mm)	使用本数 (本)	木杭末口 (cm)	根入れ深さ (m)	木杭長さ (m)
75	1	6	1.0	1.2
100	1	9	1.0	1.2
150	1	12	1.3	1.8
200	1	15	1.6	1.8
300	2	15	1.6	1.8

ウ. 標準数量表

(1 箇所当り)

工種／資材名称	単位	数量					備考
		φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300	
K形継手工	箇所	1	1	1	1	1	
K S形継手工	箇所	1	1	1	1	1	
人力木杭打工	本	1	1	1	1	2	
D K継輪	個	1	1	1	1	1	3回償却
D K栓	個	1	1	1	1	1	3回償却
K離脱防止押輪	個	1	1	1	1	1	3回償却
T頭ボルトナット (K・KF型用)※	本	8	8	12	12	16	3回償却
Kゴム輪	個	2	2	2	2	2	

※ φ 75 : M16×85、φ 100・φ 150・φ 200 : M20×100、φ 300 : M20×110とする。

(注) 備考欄に3回償却の記載がある資材の適用単価は、基礎単価の1／3とする。

(10) 仮フランジ栓止工 (材工共)

ア. 管継手工

継手形式については、F形継手工1箇所とする。

イ. 人力木杭打工

木杭の使用本数、木杭末口、根入れ深さ、木杭長さについては、「(9) 仮栓止工(材工共) イ. 人力木杭打工」の表によるものとする。

ウ. 標準数量表 (1 箇所当り)

工種／資材名称	単位	数量					備考
		φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300	
F形継手工	箇所	1	1	1	1	1	
人力木杭打工	本	1	1	1	1	2	
DフランジふたG F 形	個	1	1	1	1	1	3回償却
G Fガスケット	枚	1	1	1	1	1	
T頭ボルトナット フランジ用異形 フッ素加工※1	本	4	4	6	8	-	3回償却
Dフランジボルトナ ット フッソ加工※2	本	-	-	-	-	10	3回償却

※ 1 : M16×75とする。

※ 2 : M20×85とする。

(注) 備考欄に3回償却の記載がある資材の適用単価は、基礎単価の1／3とする。

(11) 仮排水(消火)栓止工(材工共)

ア. 管継手工

継手形式については、K形継手工1箇所、KS形継手工2箇所とする。

イ. 人力木杭打工

木杭の使用本数、木杭末口、根入れ深さ、木杭長さについては、「(9)仮栓止工(材工共) イ. 人力木杭打工」の表によるものとする。

ウ. 標準数量表

(1箇所当り)

名称	形質寸法	単位	数量				
			φ75	φ100	φ150	φ200	φ300
K形継手工		箇所	1	1	1	1	1
KS形継手工		箇所	2	2	2	2	2
人力木杭打工		本	1	1	1	1	2
消火栓設置工	設置	箇所	1	1	1	1	1
F形継手工		箇所	1	1	1	1	1
弁室類築造工	設置	箇所	1	1	1	1	1
管据付工(小運搬含む)		m	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7
管撤去工(管切断小運搬含む)		m	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7
仮排水(消火)栓止材料		式	1	1	1	1	1

エ. 標準材料表

(ア) 仮排水栓

(1 箇所当り)

資材名称	単位	数量				
		φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300
DK継輪	個	1	1	1	1	1
DK栓	個	1	1	1	1	1
K離脱防止押輪	個	2	2	2	2	2
T頭ボルトナット (K・KF形 用) ^{※1}	本	12	12	18	18	24
Kゴム輪	個	3	3	3	3	3
DKフランジ付きT字管GF形	個	1	1	1	1	1
消火栓	個			1		
DKフランジ短管 RF・GF形	個			1		
T頭ボルトナットフランジ用異形 フッ素加工 ^{※2}	本			8		
GFガスケット	個			2		
排水栓鉄蓋	個			1		
調整リング	個			2		
レジンコンクリート上部壁 (A)	個			1		
レジンコンクリート下部壁 (C)	個			1		
レジンコンクリート底版 (P)	個			1		

※ 1 : φ 75 : M16×85、φ 100・φ 150・φ 200 : M20×100、φ 300 : M20×110とする。

※ 2 : φ 75～φ 300 : M16×75とする。

(注) • 弁室類築造使用材料については、「土木工事共通仕様書(標準図集)」参照

• Kゴム輪・GFガスケット以外については3回償却とし、基礎単価の1／3とする。

(イ) 仮消火栓

(1 箇所当たり)

資材名称	単位	数量				
		φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 300
DK継輪	個	1	1	1	1	1
DK栓	個	1	1	1	1	1
K離脱防止押輪	個	2	2	2	2	2
T頭ボルトナット (K・KF形用) ^{※1}	本	12	12	18	18	24
Kゴム輪	個	3	3	3	3	3
DKフランジ付き T字管 G F形	個	1	1	1	1	1
消火栓	個			1		
DKフランジ短管 R F・G F形	個			1		
T頭ボルトナットフランジ用異形フッ素加工 ^{※2}	本			8		
G F ガスケット	個			2		
円形消火栓鉄蓋 (单口) 本体	枚			1		
円形消火栓鉄蓋 (单口) ボルトナット	組			1		
調整リング	個			2		
レジンコンクリート上部壁 (A)	個			1		
レジンコンクリート下部壁 (C)	個			1		
レジンコンクリート底版 (P)	個			1		

※1 : φ 75 : M16×85、φ 100・φ 150・φ 200 : M20×100、φ 300 : M20×110とする。

※2 : φ 75～φ 300 : M16×75とする。

(注) • 弁室類築造使用材料については、「土木工事共通仕様書(標準図集) 参照」。

• Kゴム輪・G F ガスケット以外については3回償却とし、基礎単価の1／3とする。

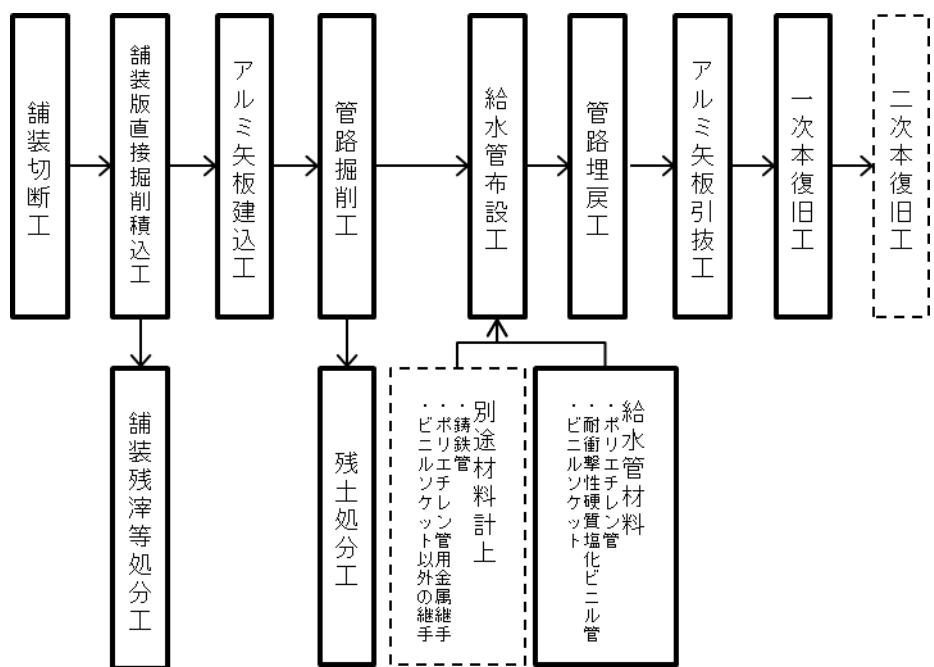
(1 2) 給水管布設工(道路部)

ア. 給水管材料について、ビニル管材料、ポリエチレン管(管のみ)については、工種に包含するものとし、ポリエチレン管用金属継手、鋳鉄管等の金属製材料については別途計上するものとする。

イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、アルミ矢板を標準とする。掘削幅及び矢板長は標準数量表によるものとする。

ウ. 埋戻工は、改良土使用を標準とする。

エ. 施工フローは、下記を標準とする。



- (注) ・本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。
 ・その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

オ. 標準数量表（ビニル管、ポリエチレン管・矢板なし）

(10m当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00	20.00	20.00	—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	6.00	6.00	6.00	—
管路掘削工		m ³	5.04	3.36	3.66	3.84
管路埋戻工	改良土	m ³	2.04	2.16	3.36	3.84
残土処分工		m ³	2.04	2.16	3.06	3.84
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.60	0.48	0.18	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	3.00	1.20	0.60	—
一次本復旧工		m ²	6.00	6.00	6.00	—
給水管布設工	ビニル管／ポリエチレン管	m	10.00	10.00	10.00	10.00
給水管材料		m	10.00	10.00	10.00	10.00

カ. 標準数量表（ビニル管、ポリエチレン管・矢板あり）

(10m当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00	20.00	20.00	—
舗装版直接掘削・積込工		m2	9.00	9.00	9.00	—
管路掘削工		m3	12.60	12.78	13.23	13.50
管路埋戻工	改良土	m3	8.10	10.98	12.78	13.50
残土処分工		m3	8.10	10.98	12.33	13.50
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.90	0.72	0.27	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	4.50	1.80	0.90	—
矢板工（設置・撤去）	2.0m 以下 B ≤ 0.9	m	20.00	20.00	20.00	20.00
一次本復旧工		m2	9.00	9.00	9.00	—
給水管布設工	ビニル管／ポリエチレン管	m	10.00	10.00	10.00	10.00
給水管材料		m	10.00	10.00	10.00	10.00

キ. 標準数量表（鋳鉄管・矢板なし）

(10m当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00	20.00	20.00	—
舗装版直接掘削・積込工		m2	7.00	7.00	7.00	—
管路掘削工		m3	6.25	4.29	4.64	4.85
管路埋戻工	改良土	m3	2.69	2.83	4.23	4.82
残土処分工		m3	2.75	2.89	3.94	4.85
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.70	0.56	0.21	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	3.50	1.40	0.70	—
一次本復旧工		m2	7.00	7.00	7.00	—
給水管布設工	鋳鉄管	m	10.00	10.00	10.00	10.00
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	10.00	10.00	10.00	10.00
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	10.00	10.00	10.00	10.00

ク. 標準数量表（鋳鉄管・矢板あり）

(10m当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00	20.00	20.00	—
舗装版直接掘削・積込工		m2	10.00	10.00	10.00	—
管路掘削工		m3	14.00	14.20	14.70	15.00
管路埋戻工	改良土	m3	8.94	12.14	14.14	14.97
残土処分工		m3	9.00	12.20	13.70	15.00
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	1.00	0.80	0.30	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	5.00	2.00	1.00	—
矢板工（設置・撤去）	2.0m以下 B≤1.3	m	20.00	20.00	20.00	20.00
一次本復旧工		m2	10.00	10.00	10.00	—
給水管布設工	鋳鉄管	m	10.00	10.00	10.00	10.00
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	10.00	10.00	10.00	10.00
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	10.00	10.00	10.00	10.00

ケ. 給水管布設工（ビニル管）

(10m当り)

工種名称	単位	φ 13	φ 25	φ 40	φ 50	φ 75
硬質塩化ビニル管布設 据付工	m	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
硬質塩化ビニル管布設 TS 繰手工	箇所	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
硬質塩化ビニル管切断工	口	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00

(注) TS 繰手工 2 箇所につき、1 口計上する。

コ. 給水管布設工（ポリエチレン管）

(10m当り)

工種名称	単位	φ 25	φ 40	φ 50
ポリエチレン管布設工 据付工	m	10.00	10.00	10.00
ポリエチレン管布設工 繰手工	口	10.00	10.00	10.00
ポリエチレン管切断工	口	10.00	10.00	10.00

サ. 給水管布設工（鋳鉄管）

(10m当り)

工種名称	単位	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200
管据付工	m	10.00	10.00	10.00	10.00
管継手工（GX形直部）	口	1.90	1.90	1.80	1.80
管継手工（GX形異形部）	口	4.70	4.70	3.40	3.40
挿口加工工・管切断工	口	0.90	0.90	1.00	1.00

シ. 標準材料表

(1 m当り)

ビニル管	耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管：1 m H I ビニルソケット：1 個
ポリエチレン管	ポリエチレン管 I 種：1 m

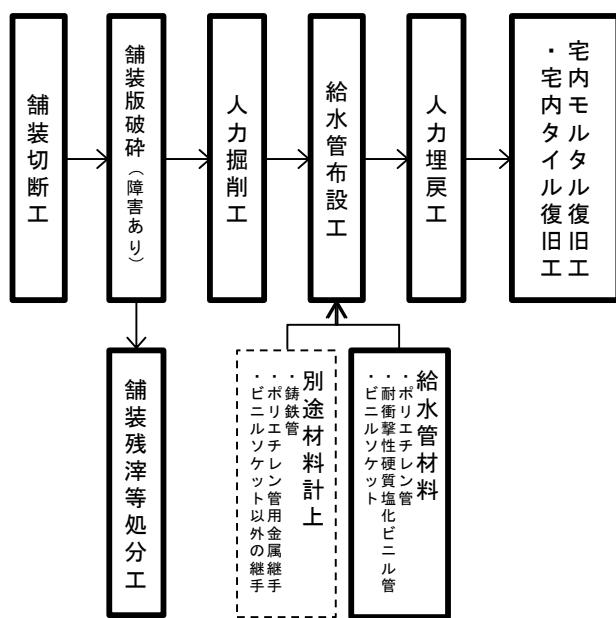
(参考) 止水栓設置工【接合替】

(1 箇所当り)

工種名称	形質寸法	単位	数量	備考
止水栓取付け工	ビニル管・ポリエチレン管	箇所	1	
止水栓材料		式	1	必要数を計上
継手材料	ビニル管／ポリエチレン管	式	1	必要数を計上

(13) 給水管布設工(宅内)

- ア. 宅内舗装は、アスファルト、コンクリート、モルタル、一般タイル、モザイクタイル、未舗装の6区分に分類し、原形復旧を標準とする。舗装厚は、モルタルについては3cm、アスファルト、コンクリート、タイル系については5cmを標準とする。
- イ. タイル系舗装については、舗装切断工・舗装残滓等処分工の適用にあたっては、コンクリート系とする。
- ウ. 工種に包含する材料については、給水管布設工(道路部)に準ずる。
- エ. 埋戻工は、流用土使用を標準とする。
- オ. 施工フローは、下記を標準とする。



(注)・本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

・その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいます。

カ. 標準数量表

(10m当たり)

工種	形質寸法	単位	数量		
			As/Co/タイル系	モルタル	未舗装
舗装切断工	アスファルト／コンクリート	m	20.00	20.00	—
舗装版破碎	アスファルト障害あり	m2	3.00	3.00	—
人力掘削工		m3	0.87	0.93	1.02
人力埋戻工	流用土	m3	0.87	0.93	1.02
舗装残滓等処分工	アスファルト／コンクリート	m3	0.15	0.09	—
給水管布設工	ビニル管／ポリエチレン管	m3	10.00	10.00	10.00
給水管材料		m	10.00	10.00	10.00
宅内モルタル復旧工 ／宅内タイル復旧工		m2	3.00	3.00	—

キ. 宅内モルタル復旧工 歩掛表

(1m² 当り)

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
モルタル練	配合比 1 : 3 (高炉)	m3	0.03	
モルタル上塗	床面	m2	1.0	
諸 雜 費	端数処理	式	1.0	

ク. 宅内タイル復旧工 歩掛表

(1m² 当り)

名 称	規 格	単位	数 量		摘 要
			一般タイル	モザイクタイル	
床 タ イ ル	100mm角／磁器質	枚	102	—	(a)
モザイクユニット タ イ ル	50 mm 角／磁器質 300×300	シート	—	11.5	(b)
セ メ ン ト	普通	kg	3.0	4.0	
細 骨 材	砂 (洗い)	m3	0.004	0.003	
タ イ ル 工		人	0.22	0.19	(c)
普 通 作 業 員		人	0.09	0.07	(d)
床モルタル塗り	木ごて 厚37mm 一般タイル下地	m2	1.0	1.0	市場単価(建築)
諸 雜 費	(a)～(d) の 16% +端数処理	式	1.0	1.0	

(14) 給水管撤去工

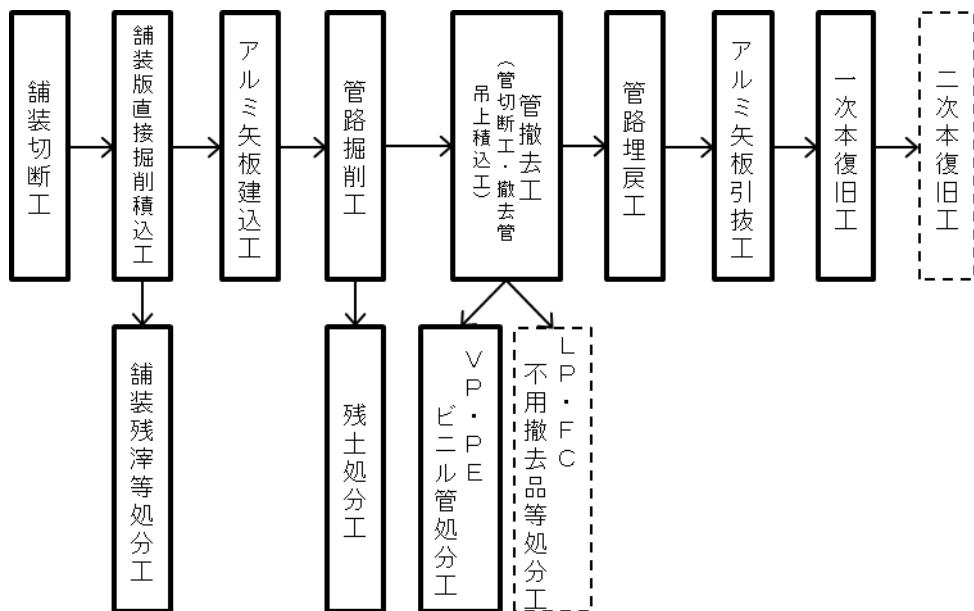
ア. 撤去管の管種及び口径区分は、下表から選択する。

管種（記号）	口径区分	積算口径
ビニル管（V P）・ ポリエチレン管（P E）	Φ40 以下	Φ25
	Φ50 以上	Φ50
鉛管（L P）	Φ40 以下	Φ25
	Φ50 以上	Φ50
鋳鉄管（F C）	Φ75～Φ300	Φ75～Φ300

イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、アルミ矢板を標準とする。掘削幅及び矢板長は標準数量表によるものとする。

ウ. 埋戻工は、改良土使用を標準とする。

エ. 施工フローは、下記を標準とする。



(注)・本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

・その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

オ. 標準数量表（ビニル管、ポリエチレン管、鉛管・矢板なし）

(10m当たり)

工種	形質寸法	単位	数量				
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道	土工無
舗装切断工	アスファルト	m	20.00	20.00	20.00	—	—
舗装版直接掘削・積込工		m ²	6.00	6.00	6.00	—	—
管路掘削工		m ³	5.04	3.36	3.66	3.84	—
管路埋戻工	改良土	m ³	2.04	2.16	3.36	3.84	—
残土処分工		m ³	2.04	2.16	3.06	3.84	—
舗装残滓等処分工	アスファルト	m ³	0.60	0.48	0.18	—	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m ³	3.00	1.20	0.60	—	—
一次本復旧工		m ²	6.00	6.00	6.00	—	—
給水管撤去工（管切断・処分含む）		m	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00

カ. 標準数量表（ビニル管、ポリエチレン管、鉛管・矢板あり）

(10m当り)

工種	形質寸法	単位	数量				
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道	土工無
舗装切断工	アスファルト	m	20.00	20.00	20.00	—	—
舗装版直接掘削・積込工		m2	9.00	9.00	9.00	—	—
管路掘削工		m3	12.60	12.78	13.23	13.50	—
管路埋戻工	改良土	m3	8.10	10.98	12.78	13.50	—
残土処分工		m3	8.10	10.98	12.33	13.50	—
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.90	0.72	0.27	—	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	4.50	1.80	0.90	—	—
矢板工（設置・撤去）	2.0m以下 $B \leq 0.9$	m	20.00	20.00	20.00	20.00	—
一次本復旧工		m2	9.00	9.00	9.00	—	—
給水管撤去工（管切断・処分含む）		m	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00

キ. 標準数量表（鉄管・矢板なし）

(10m当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00	20.00	20.00	—
舗装版直接掘削・積込工		m2	7.00	7.00	7.00	—
管路掘削工		m3	5.93	3.97	4.32	4.53
管路埋戻工	改良土	m3	2.46	2.60	4.00	4.56
残土処分工		m3	2.43	2.57	3.62	4.53
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.70	0.56	0.21	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	3.50	1.40	0.70	—
一次本復旧工		m2	7.00	7.00	7.00	—
管撤去工（管切断・小運搬含む）	$\phi 75 \sim \phi 300$	m	10.00	10.00	10.00	10.00

ク. 標準数量表（鉄管・矢板あり）

(10m当り)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	20.00	20.00	20.00	—
舗装版直接掘削・積込工		m2	10.00	10.00	10.00	—
管路掘削工		m3	14.00	14.20	14.70	15.00
管路埋戻工	改良土	m3	9.03	12.23	14.23	15.03
残土処分工		m3	9.00	12.20	13.70	15.00
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	1.00	0.80	0.30	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	5.00	2.00	1.00	—
一次本復旧工		m2	10.00	10.00	10.00	—
矢板工（設置・撤去）	2.0m以下 $B \leq 1.3$	m	20.00	20.00	20.00	20.00
管撤去工（管切断・小運搬含む）	$\phi 75 \sim \phi 300$	m	10.00	10.00	10.00	10.00

ケ. 給水管撤去工 歩掛表（ビニル管、ポリエチレン管、鉛管）

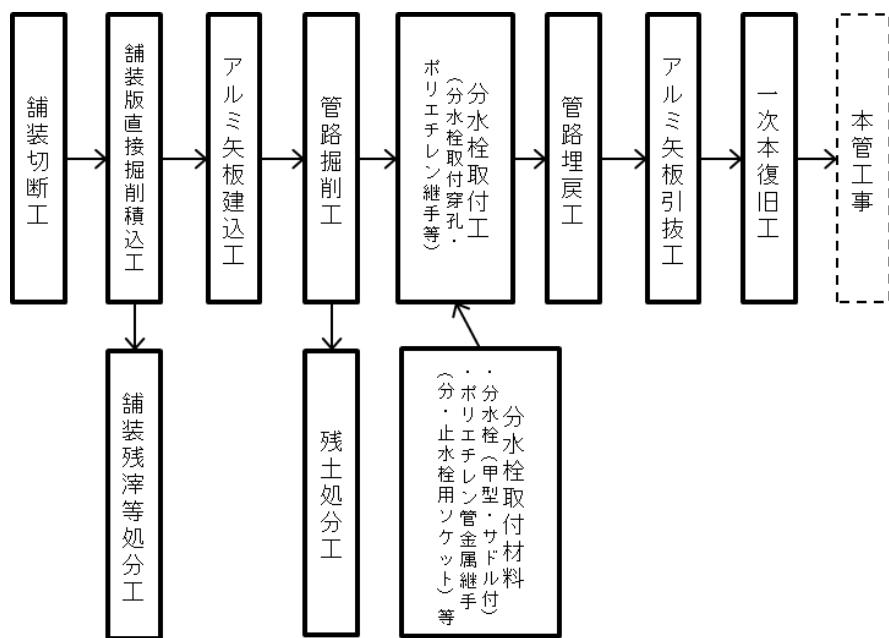
(1 m当り)

工種	規格	単位	数量
硬質塩化ビニル管布設 据付工		m	0.60
硬質塩化ビニル管切断（既設管撤去）		口	0.167
ビニル管等処分工（運搬費含む）	ビニル管・ポリエチレン管のみ	m	1.00

(注) 切断数量は、6 m当り 1 箇所を標準とする。

(15) 分水栓取付工、鋳鉄管用・ビニル管用サドル付分水栓取付工

- ア. 甲型分水栓は「分水栓取付工」、鋳鉄管用・ビニル管用サドル付分水栓は「鋳鉄管用サドル付分水栓取付工」及び「ビニル管用サドル付分水栓取付工」にそれぞれ分類する。
- イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、アルミ矢板を標準とする。掘削幅及び矢板長は標準数量表によるものとする。
- ウ. 埋戻工は、改良土使用を標準とする。
- エ. 施工フローは下記を標準とする。



- (注) • 本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。
 • その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

才. 標準数量表（分水栓・矢板なし）

(1箇所当たり)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.40	2.40	2.40	—
舗装版直接掘削積込工		m2	0.56	0.56	0.56	—
管路掘削工		m3	0.71	0.55	0.58	0.60
管路埋戻工	改良土	m3	0.43	0.44	0.55	0.60
残土処分工		m3	0.43	0.45	0.52	0.60
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.06	0.04	0.02	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.28	0.11	0.06	—
一次本復旧工		m2	0.56	0.56	0.56	—
分水栓取付工		箇所	1	1	1	1
分水栓取付材料	甲型	式	1	1	1	1
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.70	0.70	0.70	0.70
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.70	0.70	0.70	0.70

力. 標準数量表（分水栓・矢板あり）

(1箇所当たり)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.50	2.50	2.50	—
舗装版直接掘削積込工		m2	0.72	0.72	0.72	—
管路掘削工		m3	1.05	1.07	1.10	1.13
管路埋戻工	改良土	m3	0.69	0.92	1.07	1.13
残土処分工		m3	0.70	0.93	1.04	1.13
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.07	0.06	0.02	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.36	0.14	0.07	—
矢板工（設置・撤去）	2.0m以下 B≤0.9	m	2.50	2.50	2.50	2.50
一次本復旧工		m2	0.72	0.72	0.72	—
分水栓取付工		箇所	1	1	1	1
分水栓取付材料	甲型	式	1	1	1	1
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.90	0.90	0.90	0.90
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.90	0.90	0.90	0.90

キ. 標準数量表（サドル付分水栓・矢板なし）

(1箇所当たり)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.00	2.00	2.00	—
舗装版直接掘削積込工		m2	0.42	0.42	0.42	—
管路掘削工		m3	0.53	0.41	0.43	0.45
管路埋戻工	改良土	m3	0.32	0.33	0.41	0.45
残土処分工		m3	0.32	0.34	0.40	0.45
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.04	0.03	0.01	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.21	0.08	0.04	—
一次本復旧工		m2	0.42	0.42	0.42	—
分水栓取付工	鋳鉄管用／ビニル管用	箇所	1	1	1	1
コア取付工	鋳鉄管用	箇所	1	1	1	1
分水栓取付材料	鋳鉄管用／ビニル管用	式	1	1	1	1
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.70	0.70	0.70	0.70
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.70	0.70	0.70	0.70

(注) ビニル管用サドル付分水栓の本管口径はφ75とする。

ク. 標準数量表（サドル付分水栓・矢板あり）

(1箇所当たり)

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	2.30	2.30	2.30	—
舗装版直接掘削積込工		m2	0.63	0.63	0.63	—
管路掘削工		m3	0.92	0.93	0.97	0.99
管路埋戻工	改良土	m3	0.61	0.81	0.93	0.99
残土処分工		m3	0.61	0.81	0.91	0.99
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.06	0.05	0.02	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.32	0.13	0.06	—
矢板工（設置・撤去）	2.0m以下 B≤0.9	m	2.30	2.30	2.30	2.30
一次本復旧工		m2	0.63	0.63	0.63	—
分水栓取付工	鋳鉄管用／ビニル管用	箇所	1	1	1	1
コア取付工	鋳鉄管用	箇所	1	1	1	1
分水栓取付材料	鋳鉄管用／ビニル管用	式	1	1	1	1
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	0.70	0.70	0.70	0.70
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	0.70	0.70	0.70	0.70

(注) ビニル管用サドル付分水栓の本管口径はφ75とする。

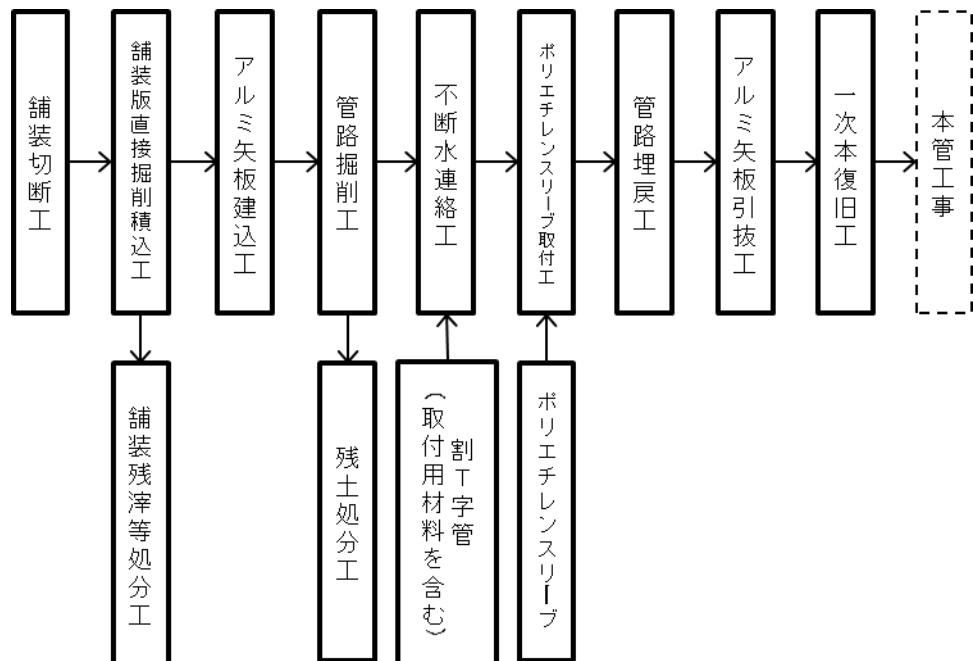
ケ. 標準材料表（分水栓取付材料）

(1 箇所当たり)

名称	単位	数量					
		分水栓	鋳鉄管用 サドル付分水栓			ビニル管用 サドル付分水栓	
			φ 25	φ 25	φ 40	φ 50	φ 25
分水栓	個	1	—	—	—	—	—
鋳鉄管用サドル付分水栓	個	—	1	1	1	—	—
ビニル管用サドル付分水栓	個	—	—	—	—	1	1
密着銅コア	個	—	1	1	1	—	—
ポリエチレン管用金属継手(分・止水栓用カット)	個	1	1	1	1	1	1
残留塩素検査(DPD 試薬)	箇所	1					
給水管表示ピン	本	1					

(16) 不断水連絡工(接合替)

- ア. 防食コア取付費については、割T字管取付穿孔工に含むものとする。なお、当該工事又は継続する工事の中で撤去が予定されているもので、一時的に使用する場合は防食コアの取付を省略することができる。
- イ. 矢板工の計上が必要となる場合は、アルミ矢板を標準とする。掘削幅及び矢板長は標準数量表によるものとする。
- ウ. 割T字管のボルト口径は、本管口径φ150以下はM16、φ200・φ300・φ400はM20を標準とする。
- エ. 埋戻工は、改良土使用を標準とする。
- オ. 施工フローは、下記を標準とする。



(注)・本包括単価は、実線部分の施工内容に対応している。

・その施工に必要な全ての機械・労務について含んでいる。

カ. 標準数量表（矢板なし）

（1箇所当たり）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	3.70	3.70	3.70	—
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.21	1.21	1.21	—
管路掘削工		m3	1.69	1.49	1.55	1.60
管路埋戻工	改良土	m3	1.08	1.25	1.49	1.60
残土処分工		m3	1.08	1.26	1.44	1.60
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.12	0.10	0.04	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.61	0.24	0.12	—
一次本復旧工		m2	1.21	1.21	1.21	—
不断水連絡工		箇所	1	1	1	1
割T字管取付材料	φ50 分岐/ φ40 分岐	式	1	1	1	1
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.10	1.10	1.10	1.10
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.10	1.10	1.10	1.10

（注）不断水連絡工は、「II編 第2章 第1. (11) 管連絡工」の不断水連絡歩掛表による。

キ. 標準数量表（矢板あり）

（1箇所当たり）

工種	形質寸法	単位	数量			
			幹線道路	一般道路	歩道	砂利道
舗装切断工	アスファルト	m	4.60	4.60	4.60	—
舗装版直接掘削・積込工		m2	1.96	1.96	1.96	—
管路掘削工		m3	3.36	3.40	3.50	3.57
管路埋戻工	改良土	m3	2.38	3.01	3.40	3.57
残土処分工		m3	2.39	3.02	3.31	3.57
舗装残滓等処分工	アスファルト	m3	0.20	0.16	0.06	—
舗装残滓等処分工	路盤廃材	m3	0.98	0.39	0.20	—
矢板工（設置・撤去）	2.0m以下 B≤1.8	m	4.60	4.60	4.60	4.60
一次本復旧工		m2	1.96	1.96	1.96	—
不断水連絡工		箇所	1	1	1	1
割T字管取付材料	φ50 分岐/ φ40 分岐	式	1	1	1	1
ポリエチレンスリーブ取付工	防食テープ含む	m	1.40	1.40	1.40	1.40
ポリエチレンスリーブ	材料費	m	1.40	1.40	1.40	1.40

（注）不断水連絡工は、「II編 第2章 第1. (11) 管連絡工」の不断水連絡歩掛表による。

ク. 標準材料表

（1箇所当たり）

名称	単位	数量	
		φ40 分岐	φ50 分岐
割T字管（外ネジ型）	個	1	1
防食コア	個	1	1
ポリエチレン管金属継手（分・止水栓用ソケット1種）	個	1	1
亜鉛合金ナットM16	個	4	4
亜鉛合金ナットM20	個	9	9
残留塩素検査（DPD 試薬）	箇所	1	
給水管表示ピン	本	1	